

のりまつせいや
ウィルチェアーラグビー日本代表乗松聖矢選手
リオデジャネイロパラリンピック銅メダルおめでとう！
出場報告会を開催しました



▲リオでの体験記を話す乗松さん

「多くの人に支えられて、ここまで
 できることができました。
 障がい者スポーツへの認知と障が
 い者への理解を僕の活動を通して
 広げていきたい」



10月21日、市役所で出場報告会を開催。乗松さんからの結果報告の後、山下市長から「背番号22が競技場内を駆け回っている姿に感動しました。この種目では日本初のメダル。荒尾市にとっても誇りです。4年後の東京にも期待しています」との祝辞がありました。その後、荒尾市初となる「スポーツ功労賞」が乗松さんに贈呈されました。乗松さんは「パラリンピックの舞台は想像以上に大きな舞台でした。予選リーグからスタメンで起用され、プレッシャーの中でも自分のプレーができました。準決勝のオーストラリア戦に敗れた時は選手だけでミーティングを行い、「絶対にメダルを持ち帰る」と気持ちを新たにしました。メダルが取れたのは応援してくれた人のおかげです。この経験を若い世代にも受け継ぎ、4年後の東京では金色のメダルをとってきます」と新たな目標に意気込みを見せました。



▲山下市長から「スポーツ功労賞」の授与を受ける乗松さん



▲報告会終了後、記念撮影をしました。前列の中央が乗松さん



▲乗松さんの競技用車いす。傷だらけの車体がウィルチェアーラグビーの激しさを物語ります

もっと知ろう！！
障がい福祉 vol.1



荒尾市障がい者自立支援懇談会
 くらし部会事務局福祉課
 ☎ 63-1406

市では、障がいのある人もない人も、地域でいきいきと暮らせるための仕組み作りの実現を目指しています。

市内の障がい福祉サービス事業所などや行政機関で構成される「荒尾市障がい者自立支援懇談会くらし部会」では、その取組みの1つとして、障がいへの理解を深め、制度やサービスをより多くの人に知ってもらうために、全9回（予定）

で障がい福祉に関する情報を連載してお届けします。障がいは誰にでも生じ得る、身近なものです。多種多様で、同じ障がいでもさまざまな違いがありますが、周囲が正しく理解し、サポートすることで社会参加の機会が広がります。

今回は障がいの特性やサポートのポイントを紹介します。

●障がいの特性やサポートのポイント

障がい名	主な特性	サポートポイント（例）	障がい名	主な特性	サポートポイント（例）
視覚障がい	・全く見えない ・見える範囲が狭い ・細部がよくわからない ・光がまぶしい	・困っている様子ときは声をかける ・誘導するときには相手のペースに合わせる	知的障がい	・脳に何らかの障がいを生じている ・知的な能力が年齢相応でなく、社会生活への適応のしにくさがある	・内容を理解しているかどうかを確認しながら、できるだけ短い文章でゆっくり、繰り返し説明する
聴覚障がい	・全く聞こえない（ろう） ・聞こえにくい状態（難聴）	・会話には、筆談、口話、手話、要約筆記などを使う	精神障がい	・精神疾患により、日常生活や社会生活のしづらさが生じている ・適切な治療や服薬により症状をコントロールできれば地域の中で安定した生活を送ることができる	・本人の状態に応じた対応、相手に不安を感じさせないよう穏やかな対応を心がける
言語障がい	・言葉の理解や適切な表現が困難 ・発声だけが困難	・聞き取りにくかった時は、曖昧なままにせず、聞き返すなどして確認する	発達障がい	・脳の機能障がいに伴い、対人関係や社会性の障がい ・言葉の発達の遅れ ・不注意、多動、多弁 ・読み書きや計算など特定の学習が苦手などが生じる	・複雑で遠回しな印象を受ける言い方はしない
肢体不自由	・上肢や下肢、体幹が病気や怪我で損なわれ、長期的にわたり日常生活動作に困難が伴う	・困っている様子が見られたら、積極的に声をかけ、どんな手助けが必要か尋ねる	難病	・原因不明で治療方法が未確立 ・後遺症を残すおそれがある	・病気を理解し、症状に合わせた配慮をする
内部障がい	・内臓機能（心臓、呼吸器、じん臓、ぼうこう・直腸など）の障がい	・外見からは分かりにくく、周りから理解されず苦しんでいる人がいることを理解する			

障がいについてもっと知ろうよ！



毎年12月3日～9日は障害者週間です

障害者週間とは、障がいのある人への理解を深め、障がいのある人がさまざまな社会活動に参加する意欲を高めることを目的としています。

次号以降は、家族・当事者団体、障がい福祉サービスや相談機関などの紹介を予定しています。